



太平高架橋 現場見学会

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第93期の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

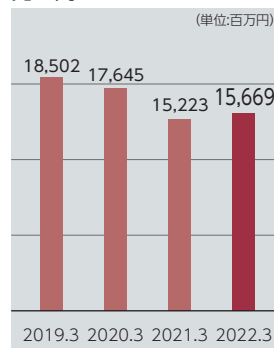
2022年6月



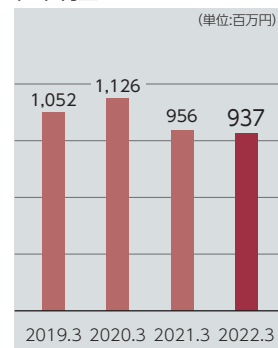
取締役社長 高橋 裕

財務ハイライト

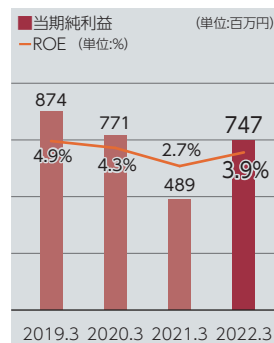
売上高



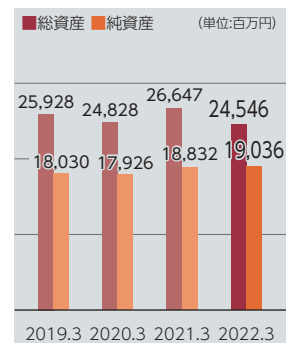
経常利益



当期純利益・ROE*



総資産・純資産



*ROE:Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものです。

第93期 株 主 通 信

2021年4月1日から2022年3月31日まで

 高田機工株式會社

証券コード: 5923

当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、感染対策の浸透やワクチン接種の進展等から一部経済活動に回復の動きが見られましたが、第3四半期末以降は新たな変異株のまん延に加えて、原油価格や原材料価格の高騰、円安の進行など、先行きは極めて不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、橋梁事業では、新設鋼橋の発注金額が前事業年度比で増加であったにも関わらず、前事業年度に大きく増加した保全工事の発注金額が減少したことで、全体の発注金額は減少しました。鉄構事業では、首都圏を中心とした大型再開発事業だけでなく、物流倉庫・データセンター・製造業の工場建設等、大型案件の件数が相次ぎ、鉄骨需要はようやく端境期を脱し回復基調へ向かいました。しかしながら、鋼材価格高騰と納期の長期化だけでなく、工期・工程ずれの常態化・技能者人材不足・燃料費高騰等多くの課題が立ちはだかり、受注に向けては慎重な取組みを求められました。

このような状況のもとで当社は、橋梁事業では限られた経営資源を最大限に活用するため、対象案件を絞った受注活動を継続し、第3四半期以降徐々に受注高を伸ばしましたが、第4四半期に受注高を積み増すことが叶わず、前事業年度並みの受注高を確保することが出来ませんでした。鉄構事業では、上半期での目標案件の失注を補うべく、工場の稼働確保と採算の改善を目指した営業活動を継続し、年度末には近畿圏での目標案件も受注しましたが、受注高は低調な結果に終わりました。

損益面につきましては、前事業年度を上回る完成工事高を確保出来たものの、橋梁事業の構成比率が減少した影響で営業利益と経常利益は前事業年度実績を下回りました。しかしながら、特別損失（固定資産の減損損失）が前事業年度から大きく減少したことで、当期純利益は前事業年度を上回る結果となりました。

今後の見通し

昨年5月に当社は、30年後40年後の将来を見据えた「第6次中期経営計画」を示しました。中期経営計画の2年目に当たる2022年度においても、長引くコロナ禍と不安定な海外情勢により先行き不透明な状況ではありますが、掲げた主要戦略を推し進めてまいります。

橋梁事業では新設鋼橋・保全工事ともに2022年度も2021年度並みの発注量は期待されています。新設鋼橋の受注確保が最重要課題であることに変わりはありませんが、新たな保全工事の受注も視野に入れております。6月には建設中の全天候型塗装工場も完成し、製作期間の短縮や品質の更なる向上を推進いたします。

鉄構事業では2021年度からの需要の回復傾向が更に進み、2022年度後半以降には首都圏の大型再開発工事を中心に繁忙期となると予想されています。仕事量確保に向けて、社内体制を見直すとともに、生産性を向上させるため経営資源の配分強化を進めます。

新規事業の一つとして、各種デバイス製品の開発と販売強化に向け、専任者を置き「デバイス推進室」として業務を進めてまいります。

企業価値の向上に向けては、老朽化した社内の基幹システムの更新に着手

売上高	156億69百万円 前期比 2.9%増 橋梁事業 121億69百万円 10.9%減 鉄構事業 35億00百万円 123.7%増	
経常利益	9億37百万円 前期比 2.0%減	
当期純利益	7億47百万円 前期比 52.7%増	
受注高	140億61百万円 前期比 36.5%減 橋梁事業 110億79百万円 29.6%減 鉄構事業 29億82百万円 53.4%減	
受注残高	211億45百万円 前期比 8.6%減 橋梁事業 162億12百万円 6.7%減 鉄構事業 49億33百万円 14.4%減	

いたしました。また、地域活性化への取組みは既に動き出し、産学官連携による交流は引き続き前進する見込みであります。

魅力的な企業創りの一環として、多様な働き方への取組み、人材育成への取組みも、規程の見直しによる具体的な運用を始めることで成果は出ており、2022年度は人事制度の改革にも着手いたします。

2021年度は、「第6次中期経営計画」開示後、新たな可能性の種を探すことから始め、いくつかの見つけ出した種については種蒔きを行い、小さな芽がはようとしている状況にありました。2022年度は2021年度に実施した様々な挑戦を更に続け、出来るだけ多くの種を見つけるとともに、その種を蒔くことを目標にしており、そこから出た芽が将来は成木となり、大きな果実を実らせることを目指しております。

2022年度は急激なインフレが続く中で、今後の市場環境は2021年度以上の大きな変化が予想されます。このような厳しい環境下ではありますが、会社設立から90年をかけて培ってきた技術と社会貢献の精神を活かし、持続可能な社会の創造と経営基盤の強化に向けて取組んでまいります。

橋梁事業

主な売上工事

中部地方整備局・為第4橋、中国地方整備局・阿賀ICランプ橋第2、関東地方整備局・小雀高架橋、近畿地方整備局・曲川高架橋、東日本高速道路㈱・釜利谷JCTランプ橋

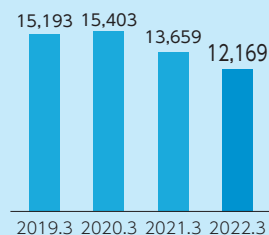
主な受注工事

中部地方整備局・西深瀬高架橋東、尾羽第3高架橋、東北地方整備局・箱堤高架橋、中国地方整備局・入江大橋、和歌山県・新南田井ノ瀬橋

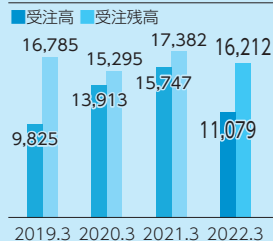


阿賀ICランプ橋第2

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



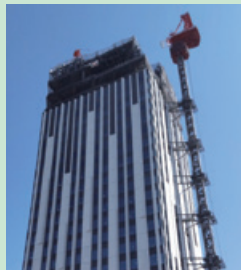
鉄構事業

主な売上工事

大成建設㈱・ニッピ難波A棟地上、ペルーナ銀座7丁目、虎ノ門二丁目地区、(株)大林組・うめきた地上鉄骨、うめきた地下鉄骨

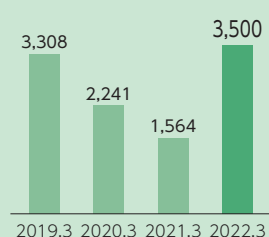
主な受注工事

(株)大林組・淀屋橋駅西地区地上、淀屋橋駅西地区地下、阪和興業㈱・アパホテル大阪難波、大成建設㈱・江崎グリーコ新岐阜SV

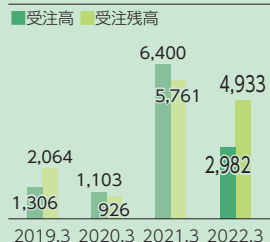


ニッピ難波A棟地上

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,560,000株

発行済株式の総数 2,237,586株

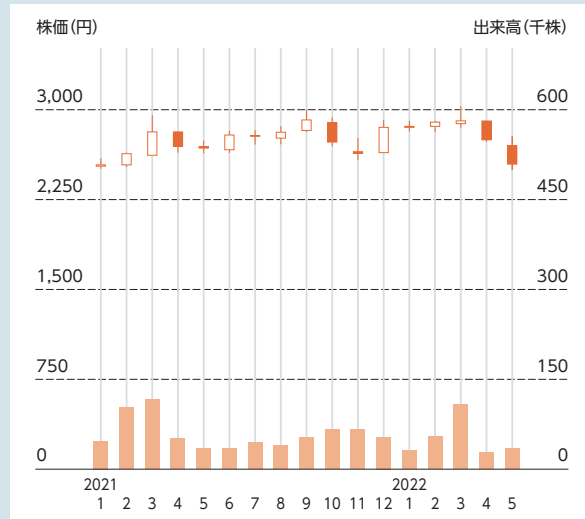
株主数 4,258名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	143	6.77
日本生命保険相互会社	113	5.38
神吉利郎	100	4.74
日本製鉄株式会社	100	4.73
株式会社奥村組	88	4.20
BLACK CLOVER LIMITED	85	4.04
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	81	3.83
株式会社紀陽銀行	58	2.77
株式会社三井住友銀行	50	2.37
三井住友信託銀行株式会社	50	2.37

(注) 1. 当社は、自己株式を126,498株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、当事業年度の末日における発行済株式の総数より自己株式(126,498株)を控除して計算して表示しております。

株価/出来高の推移



会社概要

(2022年3月31日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	1922年11月
設立	1932年3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 高橋 裕
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・群馬・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

役員

(2022年6月24日現在)

代表取締役社長	高橋 裕
常務取締役執行役員	小林 雄紀
常務取締役執行役員	蔭山 昌弘
取締役執行役員	西田 明
取締役執行役員	西尾 和彦
取締役執行役員	中村 達郎
社外取締役	川谷 充郎
社外取締役	吉永 一夫
執行役員	川俣 孝明
執行役員	伊藤 裕彦
常勤監査役	小野 誠大
社外監査役	山中 俊廣
社外監査役	山本 和人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告(http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度について

当社では、株主の皆様への利益還元のひとつとして、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様へQUOカード2,000円分を贈呈する株主優待制度を導入しております。

参照URL:<http://www.takadakiko.com/ir/benefit.html>

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

